

第1回豊明市総合計画審議会議事録

平成26年5月29日（木）

午前10時～午後12時

豊明市商工会館イベントホール

1. 挨拶

石川市長あいさつ

今まで総合計画は地方自治法で策定が義務付けられていたが、法改正により市町村に委ねられることになった。豊明市は条例を制定して自分たちのまちの未来がどうあるべきかという総合計画策定を決めた。

審議会には議員の姿がない。なぜかという、基本計画審議に議員が入るというのは二元代表制の主旨から外れるためである。基本構成ができれば議員にも意見をもらい、最終的には議会に審議を諮る。

今回は平成25年度から策定が始まっており、市民フォーラム21にコンサルティングを委託して市民へのグループインタビューとアンケートを行っている。さらに、まちの未来を描き隊によりどうあるべきかという指標を作っていただくという手法である。審議会の皆さんにはその都度ご審議いただく。

今までは事業ありきというのが前面に出ていたが、第5次は豊明市のめざすまちの未来像はどういうものか、そのために何をすべきか、行政・地域・民間企業などの役割をある程度すみ分けをして、目標値を持って、どう取り組んでいくかという総合計画になる。

第4次総合計画は、市民の方になかなか知られていないという現状である。これまでの総合計画は人口6万人程度の市町では同じようなものになっていた。これからの地域主権の時代において、独自の総合計画を職員と市民、できる限り多くの人で実りあるものを作っていきたいので、審議会の皆様のご協力をお願いしたい。

行政経営部長より資料①（総合計画条例及び総合計画審議会規則）に基づき総合計画審議会の役割について説明

審議会では基本構想やめざすまちの姿についてのご協議を中心に進めていただきたい。加えて、将来の人口や土地利用構想についてのご提案をいただければと考えている。10年後の豊明の理想形について深く話し合ってくださいことで、施策の実施が中心であった以前の総合計画の殻を破ることに繋がると考えている。

その他、委員構成及び任期等について説明

2. 議題

(1) 辞令交付、会長・副会長選任等

辞令交付 委員を代表して兼子幸夫委員に市長より交付（ほかの委員には机上配布）

委員自己紹介

会長選任 堀井委員の推薦により、小川委員が会長に選任される。

副会長選任 会長の指名により、酒井委員が副会長に選任される。

会長・副会長あいさつ

諮問 市長から会長に諮問書を手渡し

（２）審議会の公開について

事務局（企画政策課長）より資料②（審議会の公開等に関する取扱要領）に基づき説明

傍聴人１名

公開について異議なしのため傍聴人入場

（３）第５次総合計画の策定方針及び活動経過報告等について

事務局（企画政策課長）より資料③④⑤に基づき説明

● 質疑

（眞田委員）

「行政経営を可能とする」という意味について説明してほしい。「新しい公共」とリンクするのか。

（事務局）

行政に経営という言葉が馴染まないと思われるが、目標を達成するというのが行政における「経営」である。今回の総合計画では多くの市民が大事だと思う目標をいつまでにどこまで達成するかという設定をする。これに向けて努力をすることが計画の推進となる。これがまさしく「行政経営を可能とする総合計画」である。生産年齢人口が減り、財政状況が厳しくなっていくことに加え、国・県からの権限移譲もあり、すべての理想を満たすことは難しくなってくる。今回の策定手法では目標に優先順位をつけており、行政の持つリソースに限りがあり、更にそれが減っていく中で、目標に向かって努力していく行政経営というものを示していきたいと思っている。

新しい公共については、今回の策定手法により、従来行政が担ってきた分野のうち行政以外でできることというのが「役割分担値」として現れてくると思う。市民の方にこの役割分担値を考えていただくことも、新しい公共についてご理解いただくという意味で行政経営を可能にする計画となっている。

（会長）

「行政経営を可能とする」という表現は、市民に分かりやすく言い換えていただきたい。

（松井委員）

豊明市は現在人口や年齢分布などどのような特徴があるのか。市内でも地域による隔た

りがあるのか。計画策定にあたり、ベースとなるようなデータがあると「何が必要になってくるか」がより明確になってくる。5年後10年後人口がどうなっていく予想なのか、全国に比べてどうなっていくのかなどの資料もあればいただきたい。

(事務局)

用意する。人口については基本構想に書いていくので検討中であり、審議会にもご議論いただく。次回にはお示しできる。

(会長)

現状を目標に近づけるための「計画」なので、現状をとらえることが大切である。

(海老原委員)

財政推計も用意してほしい。

(事務局)

用意する。

(前田委員)

「まち」「街」「タウン」はどのように使い分けているのか

(事務局)

しっかりした定義は無いかと思うが、総合計画では「まち」をよく利用する。これは「“目に見えるまちの風景”、“住んでいる人の考えや思い”、“行政のあり方”などすべて」と考える。「街」は「都市計画に近いもの」として使用している。「タウン」については、個人的な感覚になってしまうが、「ベッドタウン」のような言葉に代表されるように「住んでいるところ」というイメージがある。

(兼子委員)

策定体系図のうち、まちの未来を描き隊の中には、市の職員は関与していないように見えるが、実際はどうか。

(加藤委員)

描き隊は3月から幅広い年齢層で活動を行っている。5つの分科会に分かれており、私自身は行政経営分科会に所属している。行政経営分科会には行政経営部長に参加していただいております、各分科会に1～2名の職員が参加していただいております。市民が参加できるという取り組みの手法に興味があつてこの描き隊に参加したが、自分が民間企業で事業の策定に関わった経験からみても非常にレベルの高い取り組みで、市民だけでは少し荷が重い部分もあるので、これからは行政のプロにも色々な意味で参加していただきたいと思っている。

(事務局)

職員が強く関与してしまうと誘導的になってしまう可能性もあるので、そうならない程度に、適切な範囲で参加している。市民グループインタビューの際は、職員は部屋の外で待機していた。

(眞田委員)

市長は第4次総合計画が市民のものになっていないのではないかと仰っていたが、自分は豊明市民であり、最近は広報も充実してきているという印象を受けている。事務局として、たとえば事業を実施するときにどのように市民に落としこいて考えているか。

(事務局)

今回目標は民主的担保を得る形で設定していく。目標に対して実施したい新規事業が出てきた場合、それが有効かどうかをツリー型ロジックモデルの中で判断していく。第4次総合計画は事業が書いてあり、事業を進捗することが計画の推進であったが、今回は目標達成するための計画になるので、事業は入れ替えていくことが特徴になる。新規事業の提案等は、計画のランニングに入った段階でお示しすることになる。

(兼子委員)

市民アンケートで教育関係の「めざすまちの姿」が多く選ばれたという話を聞いて、自分は教育委員会から来ているので、重責を感じている。市民ニーズという歴史的なものが低くなってしまうという懸念があるが、そのあたりは行政で追加することになるので結構かと思う。

(小田委員)

教育の項目が多くあがっているということで、期待が持てると思った。グループインタビューにおいて中学生12名ということで、偏りが無いか心配である。小学生・中学生は私が日々接している中で、意見を言うということに慣れている人もいるが、そうでない人も多い。大勢の子どもたちの意見が反映されているかというところが気にはなるが、子どもの意見を聞いたということ自体は進歩的だと思う。教育に関する目標では、大人がこうしたいという理想はたくさん出てきているが、子ども自身の気持ちが出ていないので、大人の期待と子どものメンタルがそぐわないということが後々生じるのではないかと心配である。

(事務局)

グループインタビューはたくさんの意見を出してもらうための手法である。市民フォーラム21の藤岡から当日の様子を紹介させていただく。

(市民フォーラム21 藤岡氏)

今回のグループインタビューは発言の洗い出しを意図しており、6～8人のグループの中で1人ずつにグループインタビューするという手法である。1対1に聞いてしまうと、その人の強い意見が出てしまう。できるだけたくさんの課題を洗い出すことが目的のため、インタビューの中で合意形成をするということはず、人の話も傾聴し、そこからの気付きも出してもらう。本来なら小学生もインタビューさせていただきたかったが、

学校と色々相談して今回は中学生のみになった。

私は当日インタビュアーを務めたが、お出でいただいたお子さんの偏りというのは感じなかった。たとえばインタビューをするときはクラスの代表の方ということが多いが、色々な方がいた。発言においても、最初は喋らない方もいたが、4回くらい順番が回るので、次第に話をしてくれるようになった。回数については、多いに越したことはないが、洗い出しという段階で最大限の注意を払った。

(兼子委員)

アンケート結果について「子どもを生きやすいまち」というニーズが出てきていないのか奇異に感じる。こういったニーズがあれば出生率等の指標が可能になる。繁栄するということは人口が増えるということで、しかも自然に増えるのが一番適切であるが、どうしてめざすまちの姿として出てきていないのか説明できることがあればお願いしたい。

(事務局)

アンケート結果は市民が思っていることなので想像しかできないが、現在出生率があがらない理由を違うところに感じているのかと思う。また更に、高度経済成長時代のように人口で経済を伸ばす時代でなく、違う時代に入っていると市民が感じているのかもしれない、「育てる」というフォーカスがあたっているということは「人材」を求めているのかもしれないと感じている。

(加藤委員)

資料⑦池田町の資料を見て、大変わかりやすいと思った。カタカナ言葉が一切使われていない。私自身、描き隊のまとめ役として、幅広い属性の集まりの中で、説明や言葉の選び方に難しさを感じている。分かりやすさが一番大事だと思う。行政の文書は学問的な難しいものが多いので、気をつけて分かりやすいものを作ってほしい。

(斉藤委員)

マトリクスの元になっているアンケートの内容と回答者の属性を次回示してほしい。属性に偏りが無いかが気になる。

(会長)

事務局で用意してほしい。また、今後資料が膨大になるので、資料に通しページをつけてほしい。

3. その他

次回の審議会は9月下旬予定

次回以降は事前に資料を郵送する予定

出席委員	兼子幸夫、海老原勉、酒井克俊、土方治、原由実子、長山加代子、田口一子、小川雄二、松井俊和、眞田明、堀井敏秀、大石雅子、前田稔、宮本慶子、加藤浩彦、三輪泰久、斉藤克彦、丸山創平、横田貞夫、山田緑、加藤年春、小田早樹子
欠席委員	加藤保行、加藤政次、寺田正樹、太田博文、安藤仁、黒田清隆、近藤二
市職員	市長、副市長、教育長、行政経営部長、市民生活部長、健康福祉部長、経済建設部長、教育部長、議会事務局長、消防長
事務局	企画政策課長、企画政策課長補佐兼政策推進担当係長、経営管理担当係長、企画政策課職員 3 名、(特非)市民フォーラム 21・NPO センター 後、藤岡、諏訪

第1回総合計画審議会 次第

日時 平成 26 年 5 月 29 日(木)
午前10時～12時

会場 市役所分庁舎(商工会館)
1階 イベントホール

1. 挨拶

2. 議題

(1) 辞令交付、会長・副会長選任等

(2) 審議会の公開について

(3) 第5次総合計画の策定方針及び活動経過報告等について

3. その他

◇配布資料

- 資料① … 豊明市総合計画条例、豊明市総合計画審議会規則
- 資料② … 豊明市総合計画審議会の公開等に関する取扱要領(案)
- 資料③ … 第5次豊明市総合計画策定方針と経過報告
- 資料④ … 第5次豊明市総合計画策定体制図及びスケジュール表
- 資料⑤ … めざすまちの姿マトリクスの選定について
- 資料⑥ … めざすまちの姿マトリクス(分野×分野)(案)
- 資料⑦ … 第5次豊明市総合計画の成果物イメージ資料
- 資料⑧ … 10年後のめざすまちの姿の意見書

■豊明市総合計画審議会 委員一覧

属 性	氏 名	役職等
豊明市教育委員会	兼子 幸夫	委員
豊明市農業委員会	加藤 保行	会長
豊明市区長連合会	海老原 勉	理事(吉池区長)
あいち尾東農業協同組合	加藤 政次	豊明地域総括理事
豊明市商工会	酒井 克俊	副会長
東名古屋豊明市医師会	寺田 正樹	委員
豊明市老人クラブ連合会	土方 治	副会長
豊明市連合婦人会	原 由実子	会計
豊明市文化協会	長山 加代子	会長
豊明市体育協会	田口 一子	常任理事
学校法人桜花学園(名古屋短期大学)	小川 雄二	保育科教授 教務部長
学校法人藤田学園	松井 俊和	大学長補佐
学校法人名古屋石田学園	眞田 明	学園理事
豊明市都市計画審議会	堀井 敏秀	会長
市民公募1	大石 雅子	
〃 2	前田 稔	
〃 3	宮本 慶子	
まちの未来を描き隊1	太田 博文	
〃 2	加藤 浩彦	
愛知県愛知警察署	三輪 恭久	豊明幹部交番所長
名古屋鉄道(株)	安藤 仁	事業企画部企画担当部長
独立行政法人都市再生機構 中部支社	斉藤 克彦	住宅経営部長
ホシザキ電機(株)	黒田 清隆	総務部部長
豊明経済懇話会	丸山 創平	会長
日本中央競馬会 中京競馬場	横田 貞夫	中京競馬場場長
豊明市心身障害者(児)福祉団体	近藤 二	会長
豊明市幼児教育研究協議会	山田 縁	マミーナ保育園 園長
豊明市自主防災組織連合会	加藤 年春	会長
市民活動(NPO)連絡協議会	小田 早樹子	書記

平成26年5月29日現在

○豊明市総合計画条例

平成25年3月28日
条例第4号

(目的)

第1条 この条例は、総合計画の定義、構成、位置付けその他総合計画の策定等に関し必要な事項を定め、もって総合的かつ計画的な市政運営を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 総合的かつ計画的な市政運営を図るための長期的なまちづくりの指針をいう。
- (2) 基本構想 市のまちづくりの基本的な理念であり、将来都市像及び基本目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 市の基本的な計画であり、基本目標を踏まえた施策の基本的方向及び体系を示すものをいう。
- (4) 実施計画 市の基本的な計画であり、基本計画で定められた施策をどのように実施していくかを具体的に示すものをいう。

(構成)

第3条 総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画で構成する。

(位置付け)

第4条 総合計画は、全ての施策を網羅した市の最上位計画と位置付ける。

- 2 各行政分野に関する計画を策定し、又は変更するときは、総合計画との調整を図らなければならない。

(総合計画審議会)

第5条 市長の諮問に応じ、総合計画について調査審議するため、豊明市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- 2 審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(議会の議決)

第6条 市長は、基本構想を策定し、又は変更するときは議会の議決を経なければならない。

(公表)

第7条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、すみやかにこれを公表するものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(廃止規定)

- 2 豊明市総合計画審議会条例（昭和47年豊明市条例第18号）は、廃止する。

○豊明市総合計画審議会規則

平成25年3月28日

規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、豊明市総合計画条例（平成25年豊明市条例第4号）第5条第2項の規定に基づき、豊明市総合計画審議会（以下「審議会」という。）の設置及び運営に関する事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、委員30人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 教育委員会の委員
- (2) 農業委員会の委員
- (3) 市内の公共的団体の役員
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 市民から公募した者
- (6) その他市長が必要と認める者

(役員)

第3条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定め、会務を総理する。

3 副会長は、会長が指名し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員の任期は、当該諮問に係る調査及び審議が終了するまでとする。

ただし、委員が第2条第2項の各号に掲げる要件を満たさなくなったときは、当該委員を辞したものとする。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、審議に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

豊明市総合計画審議会の公開等に関する取扱要領

1 会議の公開

豊明市総合計画審議会（以下「審議会」という。）の会議は公開するものとします。ただし、会議の内容を公開することが適当でないとして、審議会が判断した場合は、公開しないことができます。

2 傍聴者の人数

傍聴者は、市内在住又は在勤、在学の者を対象とし、その人数は、会議の会場に応じて、事務局が定めます。

3 会議の公開の周知

会議の開催日時、場所、傍聴者の人数は、「豊明市公式ウェブサイト」に掲載します。

4 傍聴の申し込み

会議の傍聴を希望する者は、事務局にその旨を申し込むものとします。

5 傍聴の遵守事項

傍聴者は、私語を交わしたり、審議会に対する発言はできません。

また、審議会が特に認めた場合を除き、会議の録音又は撮影はできません。

なお、傍聴者に会議の進行を妨げる行為が見受けられた場合、会長は、その者を退室させるとともに、次回以降の会議の傍聴を拒否することができるものとします。

6 会議資料の取扱い

会議資料は、別に定めのある場合及び審議会が支障があると認める場合を除き、傍聴者に貸与し、会議終了後、傍聴者の請求により写しを配付します。

7 議事録の作成及び公開

事務局は、会議の議事録を作成し、公開するものとします。この場合に、議事録は、出席委員の確認を受けるものとします。

8 その他

この要領に定めるもののほか、必要な事項は会長が審議会に諮って定めます。

9 施行等

この要領は、平成26年5月29日から施行します。

第5次豊明市総合計画 策定方針と経過報告

1

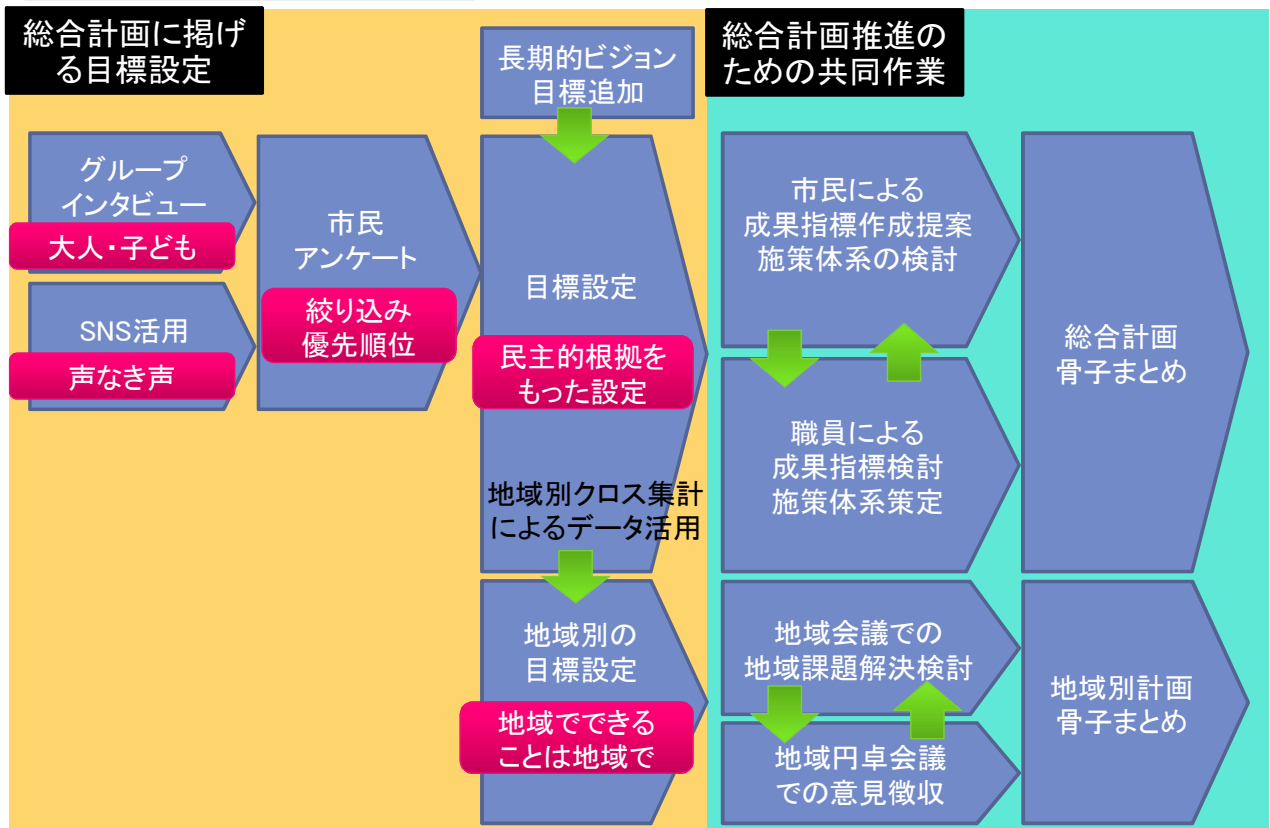
策定方針

- 1、行政経営を可能とする総合計画
- 2、市民と職員の全員体制による策定

2つの特徴

- 3、市民ニーズに基づく目標設定
(政策マーケティング)
- 4、目標の達成度合いを測るものさし
(まちづくり指標)

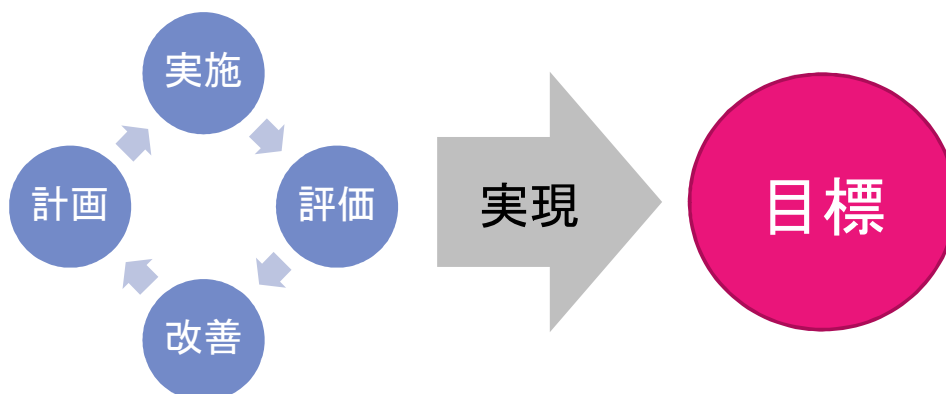
策定フレーム



3

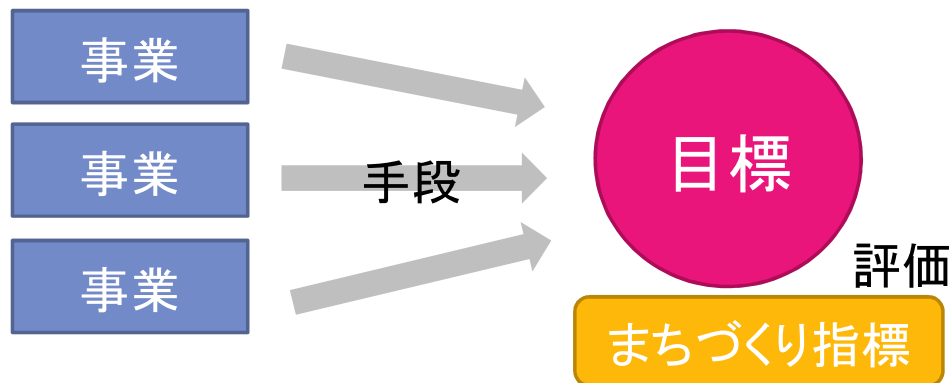
1. 行政経営を可能とする総合計画

- 目標設定の際に、多くの市民が重要と捉えた目標を前提にします。
- そのための手法として、政策マーケティングを実施します。



2. 市民と職員の全員体制による策定

- 市民からなる「まちの未来を描き隊」を結成し、目標に対する成果指標を検討します。
- 庁内では職員が、目標を実現させるための事業と施策を検討します。
- 市民と職員が互いに意見交換します。



5

2つの特徴

3. 市民ニーズに基づく目標設定
(政策マーケティング)
4. 目標の達成度合いを測るものさし
(まちづくり指標)



これまでの経過報告

3. 市民ニーズに基づく目標設定 (政策マーケティング)

1. グループインタビュー



大人

居住地、性別、年齢、職業など様々な属性の方を対象に、全9回のグループインタビューを実施。
(20代～70代まで全80名が参加)

子ども

中学生を対象にグループインタビューを実施。
(12名が参加)

「子どもの頃から職業体験ができ、具体的な将来の夢をもつことができている」
「豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている」
「支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない」など

大人も子どもも、「将来、こんな豊明市にしたい」という“夢”を語っていただきました。

2. 発言整理

グループインタビューで出された発言をすべてテープ起こしをして、発言の重複・階層を整理し、アンケート項目として活用しました。

SNSからの声を追加

3. 市民アンケート

市民アンケートにより、多くの市民が重要と捉えている「めざすまちの姿」を明らかにしました。
18歳以上の市民3,000人を対象に実施。

4. 目標の追加

市民目線は、身近なこと、近い将来のことに偏る傾向があります。市長の責任において、広域的・長期的な視点から必要と考える目標を追加します。

7

グループインタビューの概要

実施回数：全10回（平成26年1月9日～13日）

対象：年齢、性別、職業、居住地など、さまざまな属性の
市民92名（10～70代）

インタビュー内容：

「豊明市にとっての現状と課題」

「豊明市のめざすまちの姿」



理念出しワークショップの概要

実施日：平成26年2月4日

対象：若手市職員29名

内容：4つのグループに分かれて、グループインタビューとFacebookから得られた「めざすまちの姿」を同じ方向性（理念）として整理した。



9

アンケート調査の概要

調査対象

18歳以上の豊明市民の中から
無作為抽出した3,000人

調査方法

質問紙郵送方式

調査期間

発送 平成26年2月27日

返送期限 平成26年3月20日

回収状況

1,405件（回収率46.83%）

「第5次豊明市総合計画」策定に向けた
アンケート調査のお願い

市民の皆さまには、日頃から市政に対して、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

「総合計画」は、将来のまちづくりの方向性を示す計画（指針）であり、現在、豊明市では平成28年度からスタートする「第5次豊明市総合計画」を市民参加型で策定しております。

このアンケート調査は、新しい総合計画を策定するにあたり、18歳以上の市民の皆さまの中から無作為に抽出した3,000人を対象に、市民の皆さまにとって豊明市が将来どんなまちにならなければならないのか、皆さまが考える「めざすまちの姿」について伺いたいのです。

なお、アンケート設問項目は、潜在的な市民ニーズを把握するために、市民の方に直接インタビューを行い作成しており、表現は出来るだけそのままに記述しています。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

平成26年2月
豊明市長 石川 英明

【ご記入にあたって】

○このアンケートには、アンケート用紙をお送りした封筒に書かれた宛て名のご本人がお答えください。ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えください。

○このアンケートは無記名です。また、結果はまとめて集計し、個々の回答や個人情報・プライバシーに関わる情報が公表されることはありません。

○ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れて、**3月20日（木）までに** 投函してください。（切手は不要です）

○ご記入にあたってご不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

豊明市役所 企画政策課（担当：小川、矢野） 電話 92-9318

1

参考資料

■ めざすまちの姿マトリクス（分野×理念）案の抜粋				
	安心	快適	健やか	つながり
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち
健康福祉	◆子どもへの虐待がない		◆子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている ◆多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている ◆元氣なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている	◆支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない ◆支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない
地域 市民生活	◆まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	◆人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		◆子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している ◆災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている ◆防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている
教育 歴史文化	◆いじめや自殺、引きこもりがない ◆子どもが良いことと悪いことの区別ができる		◆教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい ◆子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる	

11

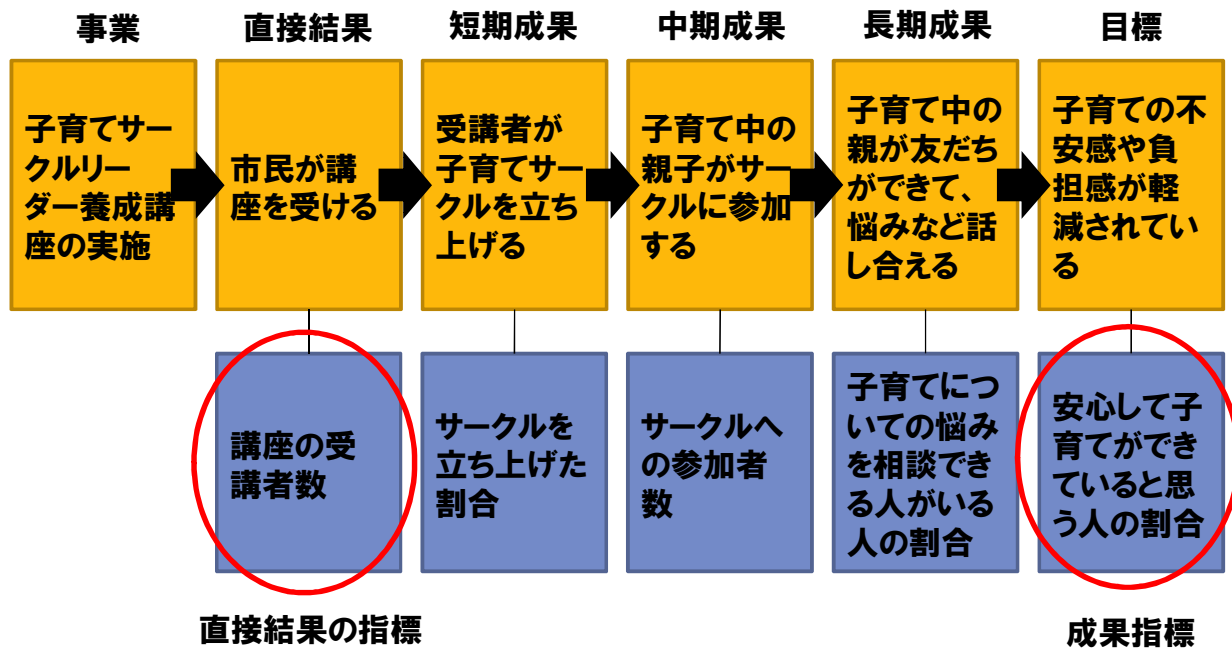
4. 目標の達成度合いを測るものさし （市民がつくるまちづくり指標）

・まちづくり指標とは...

「めざすまちの姿」（目標）が、実現に近づいているのか、遠のいているのか、停滞しているのか、また、それはどの程度なのかを測る「ものさし」です。



成果指標とは



13

まちづくり指標の活用

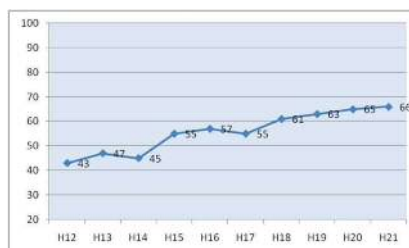
選んだ指標の推移を確認し、社会状況などを加味しながら総合的に「めざすまちの姿」(目標)の達成状況を評価します。

めざすまちの姿：

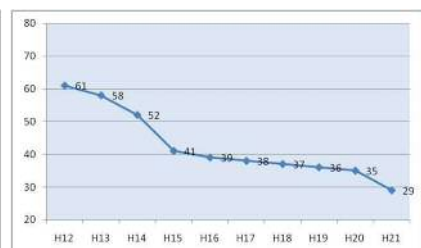
「仕事をしながらも、安心して子育てができている」



育児休暇の取得率(男女別)
(客観)



周囲にサポートしてくれる人がおり、安心して子育てができていると感じている親の割合
(主観)



家庭の中で、親と会話ができていていると思う子どもの割合
(主観)



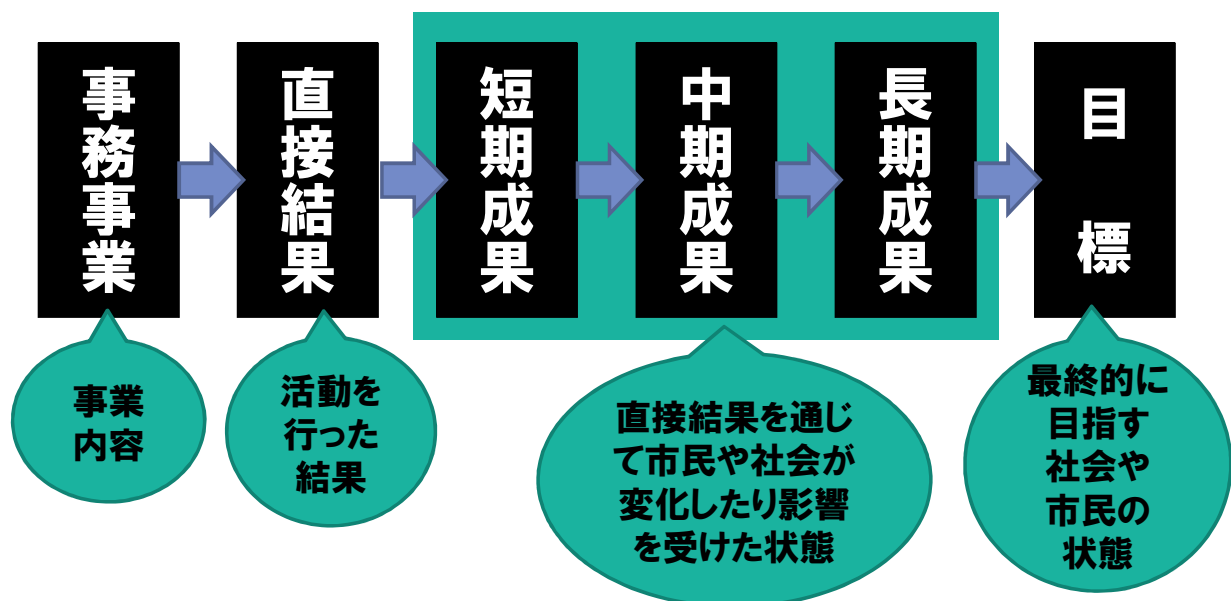
③ 目標達成のための事業立案手法 (ツリー型ロジックモデル)



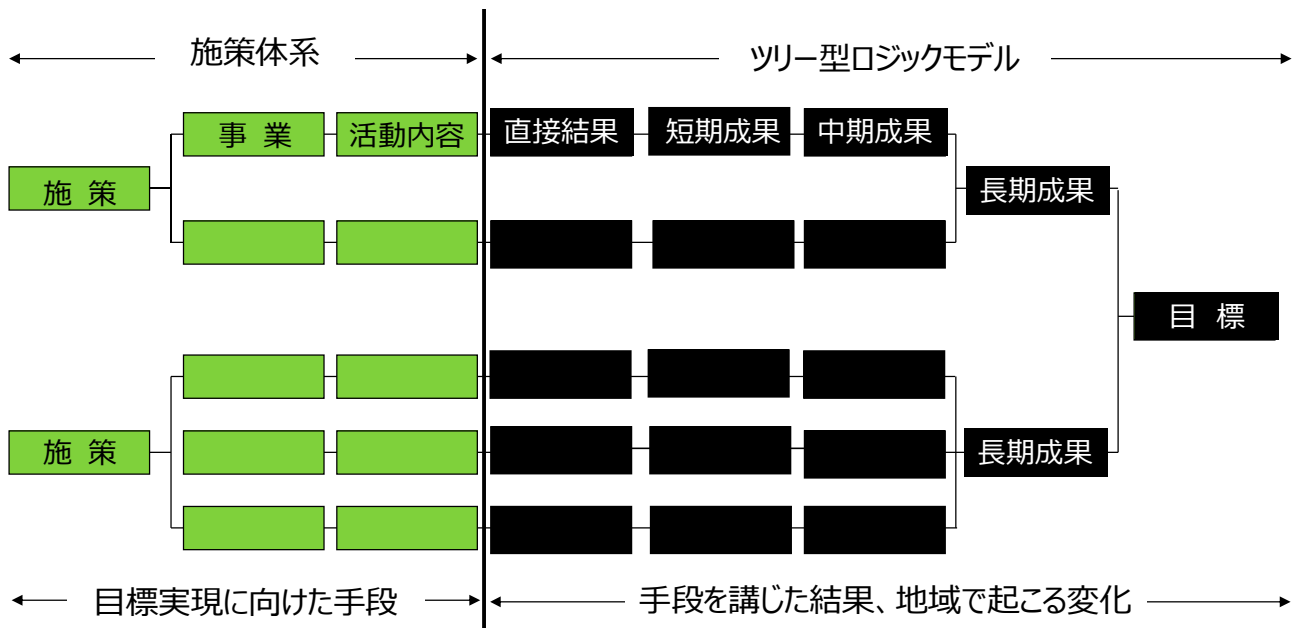
15

ロジックモデル

単線ロジック



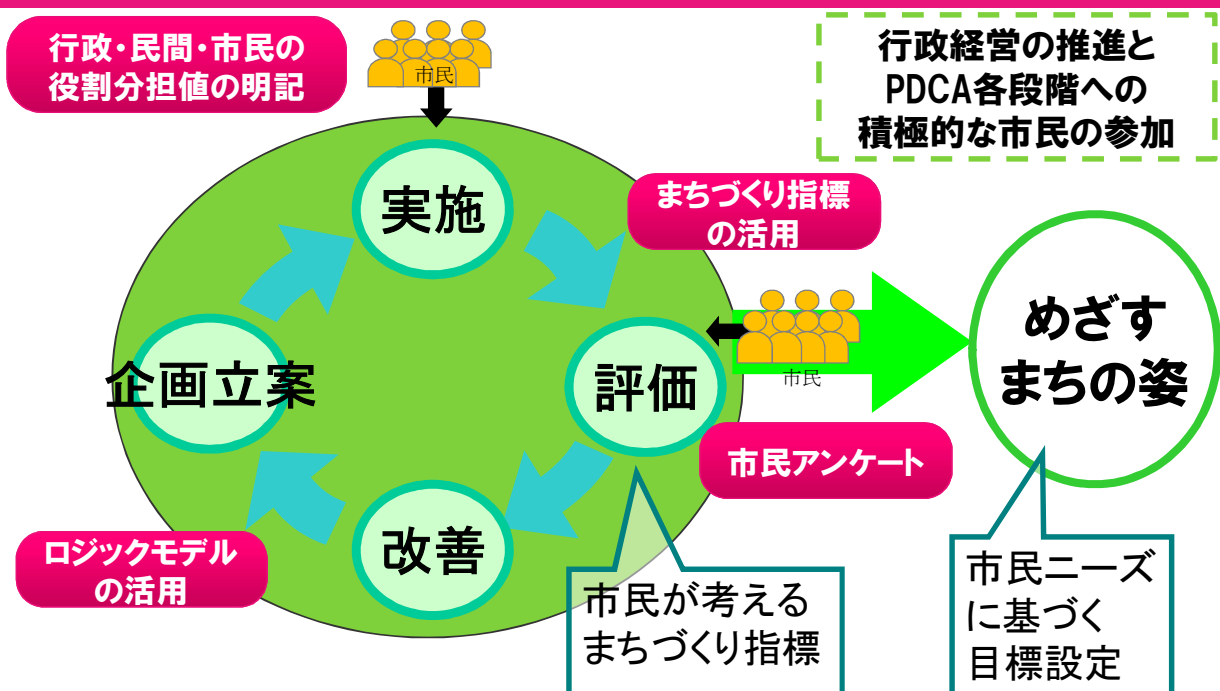
ツリー型ロジックモデル



17

行政経営を可能とする総合計画

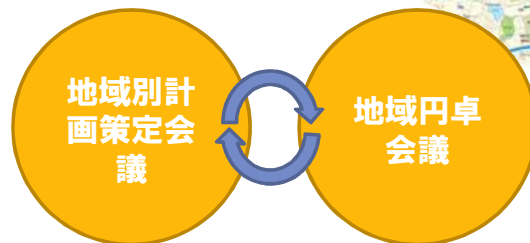
～市民と市との協働型マネジメントサイクル～



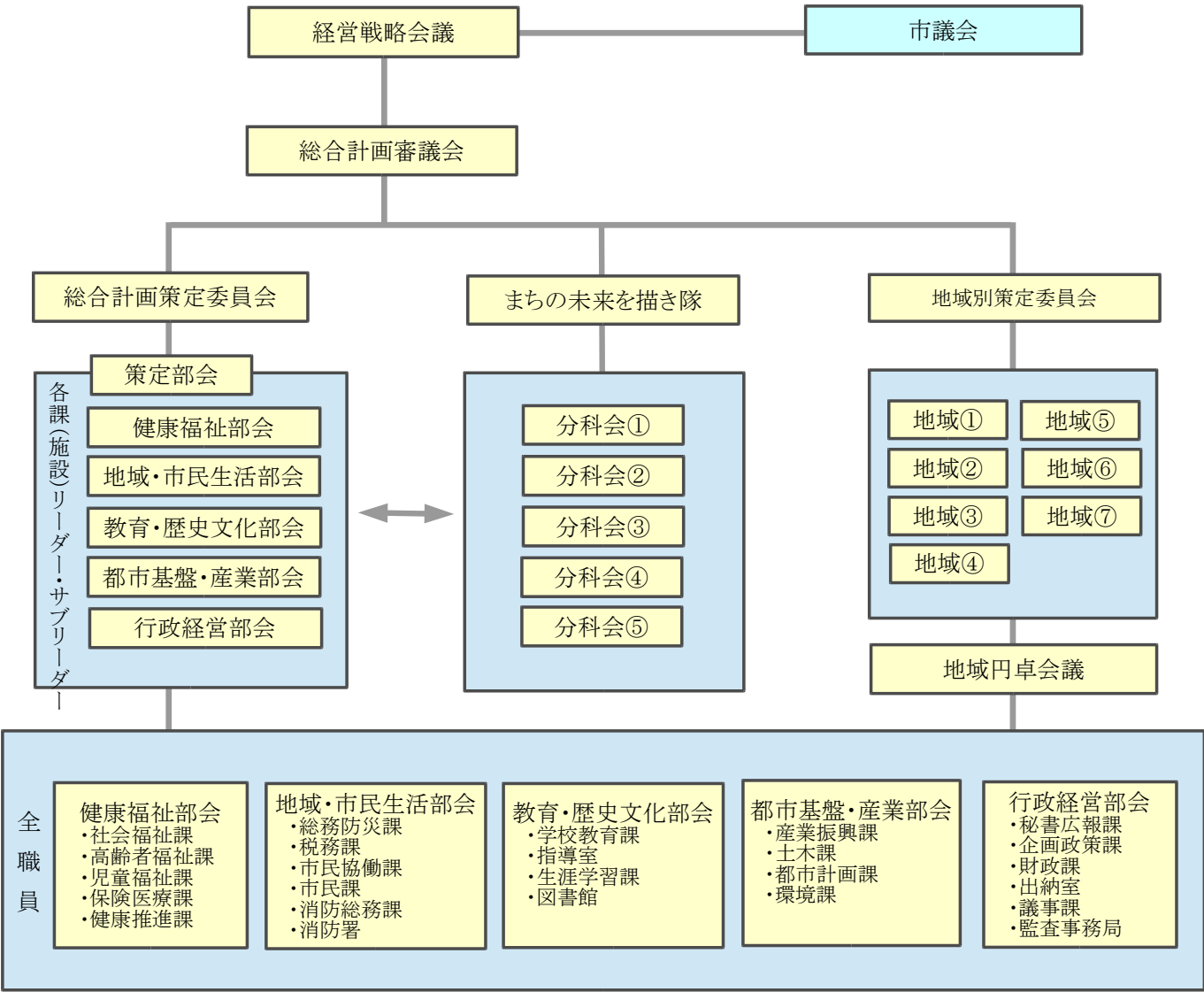
地域別計画策定会議による検討

- ・ 小学校区単位(想定)で地域別計画策定会議を設置します。
- ・ 会議には、まちの未来描き隊の希望者と市職員が参加し、各地区の固有の地域課題について、その課題解決に向けた検討を行います。
- ・ また、地域円卓会議を開催し、より多くの地域住民の意見を聞いていける工夫をします。地域円卓会議では、できるだけ若者子どもにも参加してもらい、将来を担う住民の声を反映していきます。

地域ごとの課題解決に向けた検討



第5次豊明市総合計画 策定体制図



第5次豊明市総合計画策定スケジュール表

	H26年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
審議会		審議会①				審議会②						審議会③	
策定委員会・調整会議		委員会① 5月9日		委員会②		調整会議① 委員会③		委員会④		委員会⑤	調整会議②	委員会⑥	
策定部会	全体会① 4月28日	全体会② 5月7日	幹事会・部会① LM作成	幹事会・部会② LM作成	部会③	部会④	全体会③	部会⑤	施策体系の検討		部会⑥		
地域別計画						全体会① 策定委員会①	策定委員会②	円卓会議①	円卓会議②	策定委員会③	全体会② 策定委員会④ 円卓会議③ 円卓会議④	円卓会議⑤ 策定委員会⑤	
まちの未来を描き隊	全体会① 4月27日	全体会② 5月11日	部会 成果指標作成 5部会×4回	幹事会	全体会③	幹事会	全体会④	部会 「できること」の検討 5部会×3回程度	幹事会	全体会⑤	部会 出前講座の準備	出前講座	全体会⑥

めざすまちの姿アンケート結果

	安心(976票)	快適(900票)	健やか(766票)	つながり(601票)	誠実(559票)	元気(541票)	挑戦(436票)	のどか(430票)	平等(352票)	魅力(352票)	誇り(298票)	自立(259票)	関心(220票)
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいをもち、夢や目標に向かって踏み出せるまち	自然にふれあい、のんびりとゆくり暮らせるまち	誰もが等しく個性を伸ばし、自分らしく生きられるまち	豊明の良さを発信し、多くの人に親しまれるまち	市民一人ひとりが、わがまちに愛着と自信を持ち続けられるまち	市民、地域、行政が自ら考え、行動し、それぞれの役割を果たしているまち	一人ひとりが互いに気遣い、普段から地域活動に参加しているまち
1位	1.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(676)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(887)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(689)	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(706)	11.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(762)	10.子どもが元気に外で遊んでいる(618)	14.若い人たちが地元で働ける(632)	13.空気がきれいである(609)	7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている(705)	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(532)	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(699)	9.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(692)	6.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(529)
2位	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(656)	6.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(835)	5.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(636)	6.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(547)	2.すべての子どもが等しく教育を受けることができる(659)	1.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(566)	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(613)	3.元氣なじいちゃん、ばあちゃん姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている(575)	5.すべての子どもが等しく教育を受けることができる(608)	12.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている(503)	16.豊明市が「通過するまち」になっている(655)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(632)	8.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない(480)
3位	18.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(586)	5.交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(810)	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(586)	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(538)	3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(589)	14.交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(531)	4.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(522)	11.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(574)	14.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある(557)	17.豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている(503)	7.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある(574)	14.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(485)	9.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(451)
4位	2.いじめや自殺、引きこもりがない(471)	14.空気がきれいである(658)	2.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(526)	7.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない(507)	1.いじめや自殺、引きこもりがない(579)	6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(521)	3.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(503)	4.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(552)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(552)	6.若い人が豊明市を自分たちと自信をもって言うことができている(545)	5.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている(545)	17.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(435)	7.市職員が市民のほうを見て仕事をし、顧客サービス向上の意識が高まっている(442)
5位	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(451)	12.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(604)	12.子どもが元気に外で遊んでいる(516)	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(463)	8.市職員が市民のほうを見て仕事をし、顧客サービス向上の意識が高まっている(472)	4.子どもの数が増えている(489)	11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(477)	5.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある(500)	10.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(531)	4.豊明にはこういうものがあると自信をもって言うことができている(478)	4.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている(499)	6.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(424)	17.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである(437)
6位	6.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない(414)	11.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである(581)	14.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(507)	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(419)	7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている(466)	16.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている(465)	12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(464)	7.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている(496)	2.いじめや自殺、引きこもりがない(478)	3.豊明市の歴史や文化の価値が見直され、次世代に継承されている(433)	11.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している(449)	13.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(424)	10.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている(435)
7位	8.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(414)	7.下水道の整備がなされている(490)	17.空気がきれいである(467)	3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(402)	9.税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている(416)	15.中小企業が活性化し、雇用が生まれている(457)	16.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある(462)	8.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(485)	16.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができる(462)	18.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる(424)	12.行政は、企業が活動しやすいうように後押しし、豊明にたくさん企業が進出している(443)	2.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(415)	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(412)
8位	3.税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている(413)	9.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(434)	13.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている(460)	8.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(395)	14.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(407)	5.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(394)	6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(393)	1.比較することによって価値を見つけるのではなく、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(371)	11.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(371)	9.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(399)	8.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(441)	7.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができている(400)	3.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(406)
9位	5.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(379)	8.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(358)	4.子どもの数が増えている(369)	5.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができる(356)	4.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(358)	18.商店に魅力があり、人を呼び込むことができる(382)	5.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(371)	14.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している(432)	12.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(354)	5.豊明に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある(375)	10.市民がそれぞれの個性や能力・経験を活かすことができる(421)	16.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(363)	18.若い世代の人が豊明市で楽しんだり、移り住んでいる(383)
10位	4.市民のプライバシーが守られている(327)	2.魅力ある教育、特色ある教育となっている(301)	15.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(369)	2.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる(337)	10.市民のプライバシーが守られている(353)	12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(331)	2.国際的な素養を身に着けた人材が増えている(370)	10.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している(425)	9.子育て中でも、キャリアアップしながら働き続けることができる(353)	10.豊明の特産物を活かし、特色ある産業が振興している(353)	15.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人が訪れている(401)	8.行政・地域が発信する情報が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している(351)	15.都市景観が整備され、市民が集い楽しんでいる(369)
11位	7.車に乗れない高齢者や障がい者なども行きたいところに行ける(290)	10.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している(292)	7.健康寿命が延びている(352)	11.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(318)	5.市民や企業、大学、行政などさまざまな主体者が連携し、まちの理念を実現するための地域経営ができている(337)	11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(312)	13.まちの大きなビジョンを描いてから、国や県、近隣市町村と連携をとり、市民にわかりやすく計画的に土地利用が進められている(368)	6.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができる(346)	4.比較することによって価値を見つけないで、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(300)	11.行政は、企業が活動しやすいうように後押しし、豊明にたくさん企業が進出している(345)	2.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(363)	15.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある(351)	12.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している(364)
12位	11.子どもへの虐待がない(280)	13.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(273)	11.元氣なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができる(308)	12.子どもと子育て家庭を地域と学校が連携し見守っている(317)	6.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにいっている(335)	7.健康寿命が延びている(305)	8.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(352)	16.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている(272)	13.子どもへの虐待がない(300)	14.商店に魅力があり、人を呼び込むことができる(313)	6.比較することによって価値を見つけないで、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(313)	11.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(348)	14.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(353)
13位	13.支援が必要な人の個性が尊重され、仲間と楽しんだり、それぞれの居場所がある(275)	4.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(149)	10.子どもが健全な食生活を送っている(292)	15.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合えることができる(281)	15.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している(293)	2.民間の力が活用されている(289)	10.コミュニティの単位や実施体制が見直され、必要なことは機敏に対応できている(307)	9.環境に配慮する市民の自発的な活動を行政が後押しし、循環型社会が実現している(250)	8.市民のプライバシーが守られている(298)	16.花き市場等を活かし、花のまち豊明が発信され、市外から多くの人が訪れている(283)	3.魅力ある教育、特色ある教育となっている(320)	4.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができている(328)	
14位	9.子どもが健全な食生活を送っている(270)	3.健康のために自転車に乗る人が増えている(121)	3.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる(226)	4.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにいっている(260)	13.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(285)	9.元氣なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができる(277)	9.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができる(280)	15.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(203)	6.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにいっている(278)	7.豊明市の中心が明確になり、市としての顔がある(279)	3.国際的な素養を身に着けた人材が増えている(183)	4.教師の資質が高く、生徒は師と仰いでいる(285)	2.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(311)
15位	10.元氣なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができる(227)		16.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(145)	10.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている(203)	12.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(238)	3.行政・地域が発信する情報がすべての市民に伝わるような工夫がなされ、市民も積極的に情報を取りにいっている(229)	7.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(237)	17.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(203)	3.魅力ある教育、特色ある教育となっている(235)	2.魅力ある教育、特色ある教育となっている(275)	13.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(159)	10.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(270)	5.比較することによって価値を見つけないで、自分自身の良い所、友達の良い所、豊明の良い所、他市町の良い所を考えられる市民になっている(203)
16位	15.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合えることができる(220)		8.子どもの骨が丈夫で、体力がある(143)	19.家族や友達と出かける場所があり、家族ぐるみの付き合いが広がっている(195)	16.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(200)	17.豊明市内で、従業員の能力を活かし、新しい発想が出るような会社がある(209)	15.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(209)	12.自然の力を利用して、電力が安定的に供給されている(198)	15.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(202)	8.市民が豊明市に残る山や田畑などの自然の素晴らしさを実感し、後世に残している(249)	15.田んぼのなかでのんびり育つことの良さに子どもや大人が気づき、豊明に住み続けている(152)	5.国際的な素養を身に着けた人材が増えている(268)	13.若い人たちが自分たちのまちづくりを身近に感じ、積極的に選挙に参加している(293)
17位	12.親がつながり、相談したり助け合うことで子育ての不安が解消されている(216)		6.健康のために自転車に乗る人が増えている(81)	18.仕事一筋できた人が、地域とつながることで楽しく暮らすことができる(175)		8.子どもの骨が丈夫で、体力がある(144)		2.健康のために自転車に乗る人が増えている(105)					
18位	17.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している(186)			17.「地域でできることは地域で活動しよう」と住民の意識が変わり、行動し、行政が後押ししている(149)		13.NPO等が市内に多く存在し、主体的に活発に活動している(102)				13.農業に魅力を感じ、新たに農業をしようとする人が増え、豊明に合ったかたちで農業を実践している(137)			11.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(115)
19位				13.外国人と一緒に住んでいくということが市民のなかに自然に受け入れられ、外国人に配慮したまちづくりが進められている(99)						19.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(108)			19.昔からある畑や小屋など、豊明の素晴らしい景観に市民が価値を見出し、残している(106)

◆めざすまちの姿マトリクスの選定について

1. 理念7位×得票数6位のうち、重複を削除
2. 8位以下の理念で得票数550以上の「姿」をマトリクスに追加
 - ① 「元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができている」(のどかで575票)
 - ② 「子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している」(のどかで552票)
 - ③ 「豊明市が「通過するまち」から「足を運んでくれるまち」になっている」(誇りで655票)
 - ④ 「豊明市に市外の友達などに紹介できるような魅力がある」(誇りで574票)
 - ⑤ 「子どもがずっと育ってきた豊明を大好きでいる」(誇りで699票)
3. 5段階評価で上位10位の「姿」をマトリクスに追加
 - ⑥ 「子どもへの虐待がない」(5位)
 - ⑦ 「防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている」(10位)
4. 事務局提案での追加
 - ⑧ 「税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている」(誠実で7位、5段階評価で14位)

	安心	快適	健やか	つながり	誠実	元気	挑戦	合計
健康福祉	1		3	2		1	1	8
地域	1	1		3		1	2	8
教育	2		2		1	1	1	7
都市基盤		4				2	1	7
行政経営					4	1	1	6
合計	4	5	5	5	5	6	6	36

めざすまちの姿マトリクス(理念7位×得票数6位)

	安心(976票)	快適(900票)	健やか(766票)	つながり(601票)	誠実(559票)	元気(541票)	挑戦(436票)
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち
1位	1.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(676) 教育	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(887)	1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(689) 教育	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(706)	11.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(762)	10.子どもが元気に外で遊んでいる(618) 地域	14.若い人たちが地元で働ける(632) 都市基盤
2位	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(656) 地域	6.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(835) 都市基盤	5.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しむ、健康に暮らしている(636) 健康福祉	6.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(547) 健康福祉	2.すべての子どもが等しく教育を受けることができる(659) 教育	1.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(566) 教育	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができる(613) 教育
3位	18.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(586) 都市基盤	5.交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(810) 都市基盤	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(586) 健康福祉	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(538) 地域	3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(589) 行政経営	14.交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(531) 健康福祉	4.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(522) 健康福祉
4位	2.いじめや自殺、引きこもりがない(471) 教育	14.空気がきれいである(658) 都市基盤	2.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(526) 健康福祉	7.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない(507) 健康福祉	1.いじめや自殺、引きこもりがない(579) 健康福祉	6.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(521) 健康福祉	3.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(503) 行政経営
5位	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(451) 健康福祉	12.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(604) 都市基盤	12.子どもが元気に外で遊んでいる(516) 健康福祉	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができる(463) 健康福祉	8.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている(472) 行政経営	4.子どもの数が増えている(489) 健康福祉	11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(477) 地域
6位	6.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない(414) 健康福祉	11.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである(581) 地域	14.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(507) 健康福祉	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(419) 健康福祉	7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている(466) 行政経営	16.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている(465) 都市基盤	12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(464) 地域

								合計
健康福祉			2	2		1	1	6
地域	1	1		1		1	2	6
教育	2		1		1	1	1	6
都市基盤		4				1	1	6
行政経営					3		1	4
合計	3	5	3	3	4	4	6	28

■ めざすまちの姿マトリクス

(+8位以下理念の550票以上、+5段階評価上位10位、+事務局)

	安心(976票)	快適(900票)	健やか(766票)	つながり(601票)	誠実(559票)	元気(541票)	挑戦(436票)
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち
1位	1.子どもが良いことと悪いことの区別ができる(676) 教育		1.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい(689) 教育			10.子どもが元気に外で遊んでいる(618) 地域	14.若い人たちが地元で働ける(632) 都市基盤
2位	16.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない(656) 地域	6.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる(835) 都市基盤	5.子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている(636) 健康福祉	6.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない(547) 健康福祉	2.すべての子どもが等しく教育を受けることができる(659) 教育	1.子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている(566) 教育	1.子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができる(613) 教育
3位		5.交通の利便性が高く、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している(810) 都市基盤	9.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている(586) 健康福祉	14.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている(538) 地域	3.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている(589) 行政経営	豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている 都市基盤	4.高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている(522) 健康福祉
4位	2.いじめや自殺、引きこもりがない(471) 教育	14.空気がきれいである(658) 都市基盤	1.子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる(699) 教育	7.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない(507) 健康福祉	税金が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている 行政経営	豊明市に市外の友達などに紹介できるような魅力がある 行政経営	3.市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている(503) 行政経営
5位	11.子どもへの虐待がない(280) 健康福祉	12.日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている(604) 都市基盤	1.元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができる(308) 健康福祉	11.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している(318) 地域	8.市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている(472) 行政経営	4.子どもの数が増えている(489) 健康福祉	11.若い世代が地域で活動し、地域に活気がある(477) 地域
6位		11.人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである(581) 地域		15.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができる(220) 地域	7.世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている(466) 行政経営	16.市内に遊ぶ場所や働く場があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている(465) 都市基盤	12.若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている(464) 地域

	合計						
健康福祉	1		3	2		1	8
地域	1	1		3		1	8
教育	2		2		1	1	7
都市基盤		4				2	7
行政経営					4	1	6
合計	4	5	5	5	5	6	36

5段階評価の結果

順位	分野	めざすまちの姿	平均値	差
1	地域・市民生活	46.まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	4.558	—
2	教育・歴史文化	4.子どもが良いことと悪いことの区別ができる	4.544	-0.014
3	地域・市民生活	44.災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている	4.529	-0.014
4	教育・歴史文化	6.いじめや自殺、引きこもりがない	4.483	-0.046
⑤	健康福祉	37.子どもへの虐待がない	4.483	-0.001
6	教育・歴史文化	13.すべての子どもが等しく教育を受けることができる	4.472	-0.011
7	教育・歴史文化	2.教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい	4.408	-0.063
8	都市基盤・産業	68.空気がきれいである	4.398	-0.010
9	都市基盤・産業	59.道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる	4.381	-0.017
⑩	地域・市民生活	45.防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができている	4.373	-0.008
11	健康福祉	34.多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	4.367	-0.007
12	行政経営	15.行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	4.346	-0.021
13	都市基盤・産業	60.下水道の整備がなされている	4.301	-0.045
14	行政経営	21.税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている	4.292	-0.008
15	都市基盤・産業	70.中小企業が活性化し、雇用が生まれている	4.274	-0.018
16	健康福祉	28.支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困っていない	4.272	-0.002
17	地域・市民生活	47.市民による交通安全運動が行われ、歩行者も自転車も自動車も互いに事故が起きないように注意して通行している	4.263	-0.009
18	地域・市民生活	39.子どもが元気に外で遊んでいる	4.258	-0.005
19	健康福祉	27.支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない	4.239	-0.019
20	健康福祉	35.子どもが健全な食生活を送っている	4.222	-0.017

■ めざすまちの姿マトリクス（分野×理念）案

	安心	快適	健やか	つながり	誠実	元気	挑戦
	心配や不安がなく、明るく暮らせるまち	きれいで、心地よく、誰もが住みやすいまち	子どもからお年寄りまで、のびのびと心身ともに健康に暮らせるまち	地域の中でお互いが支えあい、助け合えるまち	健全で透明性が高い行政運営で、市民に開かれたまち	誰もがいきいきと明るく、活気にあふれているまち	誰もが生きがいを持ち、夢や目標に向かって踏み出せるまち
健康福祉	子どもへの虐待がない		子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている	支援が必要な人が身近に寄り合える場所があり、孤立していない		子どもの数が増えている	高齢者、障がい者など誰でも居場所と出番があり、経験や知識を活かして働き、収入と生きがいを得ている
			多様な主体者が連携し、将来を見据えた医療や福祉の戦略が立てられ、実行されている	支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない			
			元気なじいちゃん、ばあちゃんの姿を見て、若い世代が老後の生き方に夢をもつことができる				
地域 市民生活	まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない	人通りが多い場所でもごみが落ちておらず、まちがきれいである		子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		子どもが元気に外で遊んでいる	若い世代が地域で活動し、地域に活気がある
				災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている			若い人が豊明市を自分たちのまちとして愛着をもち、新しい感性を活かし、まちづくりが進められている
				防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の連携ができており、災害時には助け合うことができる			
教育 歴史文化	いじめや自殺、引きこもりがない		教育や子どもに関する予算が確保され、子どもの教育環境がよい		すべての子どもが等しく教育を受けることができる	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている	子どもの頃から職業体験や働く人の話を聞くことで、将来の夢を持つことができる
	子どもが良いことと悪いことの区別ができる		子どもが、ずっと育ってきた豊明を大好きでいる				
都市基盤 産業		道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる				豊明市が「通過するまち」から、「足を運んでくれるまち」になっている	若い人たちが地元で働ける
		交通の利便性がよく、市外から人が移り住んだり、通勤・通学している				市内に遊ぶ場所や働く場所があり、いろんな人が市内に入ってきて、豊明市が潤っている	
		空気がきれいである					
		日常生活は自然に親しむことができると同時に生活に不自由のないコンパクトシティとなっている					
行政経営					行政は積極的に市民からの意見を吸い上げる工夫や努力をしている	豊明市に、市外の友達などに紹介できるような魅力がある	市長や議会、行政は、まちを良くしていくために外からの知識を吸収し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしている
					世代、性別などで不公平感のない行政経営がなされている		
					税収が確保され、持続可能な未来あるまちとなっている		
					市職員が市民のほうを見て仕事をして、顧客サービス向上の意識が高まっている		

【施策】 子どもの学ぶ喜びを育み、生きる力を養う

社会背景

子どもは、自我が芽生え、生活の場や他者との関係が広がると、興味・関心を抱く対象もどんどん広がり始めます。興味・関心の幅は、機会を提供することにより、好奇心や探究心を満足させながらさらに拡大し、豊かな感性と学ぶ意欲の基盤を形成します。

町の現状と課題

池田町では、小学生を対象に夏休み学習会・通学合宿などを行っています。学習会では、学ぶ喜びを感じとり、合宿においては、共同生活の中でのルールを知り、自立心を育てると同時に、協力しあう気持ちを学んでいます。また、小・中学生が子ども議員となり、子ども議会を開催しています。行政の仕組みを理解しながら、将来の池田町のあるべき姿は、自分たちの手で作っていくんだという意識を育てています。子どもにとって、教育を提供する場の影響は非常に大きいと考えられます。子どもたちが楽しく学ぶために、教育内容の充実はもちろんのこと、集団生活の中で、子ども自らが考え、判断し、行動できる自主性を重視した場所づくりが行われるよう、保護者や地域住民とともに考えていく必要があります。

施策の体系

子どもの学ぶ喜びを育み、生きる力を養う

子どもが自発的にやりたいことができる環境を整備する

〈主な事業〉体験学習推進事業、通学合宿事業

子どもが異文化に触れる機会を確保する

〈主な事業〉中学生海外派遣事業、夏期講習交流文化事業

地域に愛着や誇りを持てる子どもを育成する

〈主な事業〉子ども議会開催事業、池田町再発見推進事業

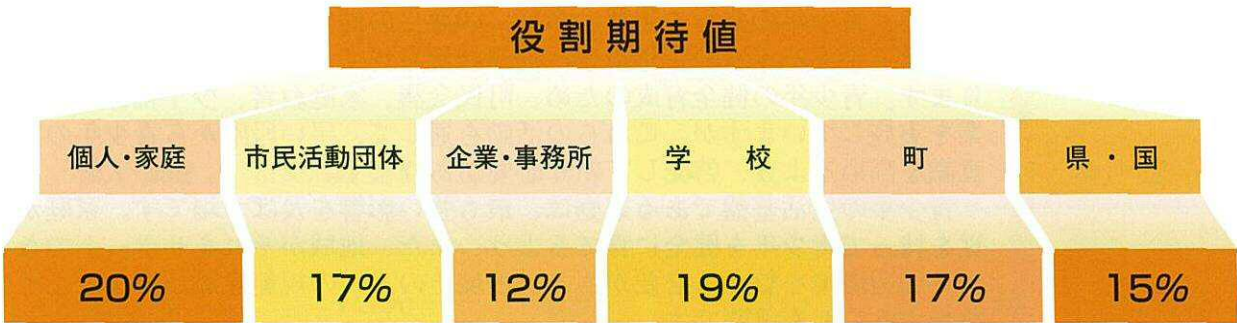
学校給食を教材とした食育を推進する

〈主な事業〉学校給食センター改築事業

めざすまちの姿

子どもが将来の夢や目標を持ち、意欲的である

まちづくり指標	現状値	めざそう値	
		5年後	10年後
身近で目標とする大人がいると思っている子ども（小中学生）の割合	61.3%	67.2%	72.7%
将来の夢につながる進路志望を持っている子ども（小中学生）の割合	58.5%	64.7%	70.8%
学校以外で楽しい活動ができていると思っている子ども（小中学生）の割合	91.6%	94.1%	95.6%



町民や各種団体などができること

- 家庭や親は、自分の生き方を子どもに語ることができ、自らの生きる姿を見せることができます。
- 池田町で生まれ育った大人は、子どもに地元の歴史や文化や伝統行事などを伝えることができます。
- 若者は、子どもたちに、池田町の伝統行事やおまつりを楽しみ、参加している姿を見せることができます。
- 子どもたちは、将来の夢や目標に向かって、何事にもとらわれない心と勇気で行動すれば、一人ひとりの能力や生活環境にあった教育を受けることができます。

（町民参加推進会議で考えたこと）

- 保護者は、子どもに意欲的な生活習慣を身につけさせ、あるいは子どもの行動を恥ずかしいからと抑え込まなければ、夢や目標につなげられるよう応援することができます。



めざすまちの姿 意見書

マトリクス(案)のめざすまちの姿をご覧ください、これから豊明市が「めざすまちの姿」や現状、課題などで漏れている分野がございましたら、ご意見ください。

ここで挙げるめざすまちの姿とは、具体的な事業レベルではなく、こんなまちになっていて欲しいという抽象的な将来の姿となります。この抽象的な「めざすまちの姿」を実現するために、市民公募の「まちの未来を描き隊」や職員の策定部会が具体化していきます。

総合計画審議会委員

お名前

追加したほうがよいと思う「めざすまちの姿（目標）」①

追加の理由

追加したほうがよいと思う「めざすまちの姿（目標）」②

追加の理由

提出先：豊明市役所 企画政策課（矢野宛）

Fax 0562 (92) 1141

【提出期限：平成 26 年 6 月 10 日(火)】